



小金原九丁目町会に現役高校生役員2人が誕生 ～多世代交流のできる町会に～

令和3年4月1日から、高校生の2人が地域共生担当として小金原九丁目町会の役員に就任しました。新しい意見を町会に積極的に取り入れ、多世代が交流できるような町会にしていきたいという思いがあった小金原九丁目町会の渋谷寛之会長が高校生の2人に声をかけ、現役高校生役員が誕生しました。

●所属町会

小金原九丁目町会（会員数：約700世帯）
会長 渋谷 寛之（しぶや ひろゆき）さん

●高校生役員（地域共生担当）

高校2年・鳶田 晴菜（しまだ はるな）さん
高校2年・末永 実優（すえなが みゆう）さん



高校生役員の鳶田さん(右)と末永さん

●高校生の2人が役員となった経緯

鳶田さんと末永さんは、小学生の頃から町会の和太鼓チームに所属し、和太鼓の活動やその他町会活動に参加していました。活動を通し、様々な世代の人たちと触れ合ってきたお二人は、地域の役に立ちたい、みんながやっていないことをやってみようという思いがありました。渋谷会長からの「役員にならないか」との声をきっかけに、役員に就任しました。

●役員としての意気込みや後の活動について

（渋谷会長）若い世代の2人にイベントの企画をやってもらい、若い世代が興味を持つイベントや多世代が交流できるイベントなど、新しいことを始めていけたらいいと思います。

（鳶田さん、末永さん）若い世代は町会活動にあまり興味を持ってもらえていないため、若い世代にも興味を持ってもらえるようなイベント等を企画していきたいです。また、イベントなどはある程度形が決まってしまうので、毎年同じようなイベントになってしまうことや、他の町会と内容がかぶってしまうこともあります。多くの世代にイベントや活動に参加してもらうために、町会の個性やこの町会だけにあるものをつくっていきたいと思います。



やさシティ、まつど。
matsudo

●松戸市内の町会・自治会の現状

町会・自治会は、同じ地域に住む人たちがお互いに支えあい、協力し合って住みよいまちをつくるために、活動をしている自主的に組織された任意団体です。

松戸市内には347の町会・自治会（令和3年11月19日時点）があり、防災・防犯、美化活動、地域交流イベントなど様々な活動を行っています。

市では、高校生役員就任のニュースがきっかけとなり、若い世代の町会活動参加を促進し、地域の活性化につながってほしいと考えています。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市市民部市民自治課 ☎047-366-7318

FAX 047-366-2447 ✉ mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp